

世田谷区民の皆さん？

「区のおしらせ」には保坂区長の“いい人”コラムが連載され「議会だより」には通り一遍の回答、果たして世田谷区に問題はないのでしょうか？
批判なき権力は腐敗します。区民の皆さんに“ピリ辛”で区政の実像に迫ります！

区政報告 第60号

2019年3月

〒157-0063 粕谷3-15-3 TEL&FAX 3307-1179



おおば正明

世田谷区議会議員

世田谷行革110番

略歴

①昭和62年「世田谷行革110番」から組織なし、カネなし、政党なし選挙で最下位当選（次点とわずか14票差）以後、議会で不正追及、ダメ公務員追放の先頭に立つ②連続8期当選。政党歴なし、無所属③平成27年3月議会で、区役所の第1庁舎、第2庁舎の非常用電源がわずか3時間しかもたないことを指摘、保坂区長の災害無策を明らかにする。（以後、熊本地震まで区長は動かず！）④「福祉の財源は行革から」が政治信条⑤全額公費による海外視察を批判、視察参加なし。■成蹊大経済卒【家族】妻・娘【生年】1956年62歳、粕谷在住。

保坂区長2期目の

選挙公約を検証次ページ

■保坂区政の2期目はどうだったのか？この4年間の公的記録等を根拠に区長の公約はどこまで実現できたのか、検証します■詳細は次ページです。

意味があったの？ 1期目の3大実績

■4年に1度だけポスティングされる「保坂区長（候補）の公約」を覚えている人がどれだけいるでしょうか（一方毎月発行される区の広報紙における保坂区長の自慢コラムは4年間で100回近く）■区政は客観的に伝わっているのでしょうか？■そこで改めて区長の公約について検証してみました■以下が3大実績（H23～27）のタイトル。検証は次ページ。

- 基本構想をまとめる？
- 22ぶりに「借金ゼロ」？
- 子ども予算を10年前の倍？

区長退職金廃止！で初当選でも2期目はしっかり貰います

これだけじゃない
選挙公約の軽さ薄さ

ふるさと納税の影響で世田谷区は53億円のマイナスなのに自分は一度廃止した区長退職金を“復活”させて全く危機感の感じられない保坂区長。



区長退職金は保坂氏によって廃止されたと思っている人は多いのではないのでしょうか。実はこれ最初だけ。2期目はちゃんと**2千万円の退職金受け取るのです**。その議会議事録を大公開！



受け取りますよ

2千万円！

「区長の退職金廃止」を掲げて当選したはずが



四年間の任期で二千四百万円という退職金が**私自身の経済感覚から見て高額**であるという認識のもと、区長の退職手当を廃止するための条例を提案しているものでございます。

【平成23年6月15日・保坂区長答弁より】

2期目になると **こんなことを言いました！** まるで別人



区長の職は想像以上に激務で、負担も極めて重いことを痛感し、じっくり考えた結果、退職金を受け取るという結論に至りました。

区長の仕事も知らず「廃止」を公約して、当選したら激務だから今度は貰うなんて身勝手すぎる？

わずか4年で区長退職金復活の“仕掛け”？

■「わずか4年間で2500万円の区長退職金は即刻廃止します」と区長選公約に高々と掲げて、初当選した保坂区長■ところが、2期目の区長は今回は（公約にしなかったの）受け取ると議会で明言しました（退職金は任期毎の支払い・廃止金額は就任当時）■有権者からすれば、「即刻廃止」したのだから、「退職金はなくなった」と信じている人が多いのではないのでしょうか？
■実はこれ、保坂区長が初当選時にしたのは「即刻廃止」ではなく、「一時支給停止」だけだったのです。

保坂区長の給与は2234万 **プラス一厘の退職金**

給与は昨年の年収です。世田谷区の広報紙は、保坂氏のコラムをはじめとして、莫大な税金を使って「都合の悪いこと」は載せません。91万人都市の世田谷区としては、事実上の「批判」が公言されないことは、異常なできごとです。今回は敢えて、耳目を集めやすい退職金を入り口に区政チェックを試みてみました。

おおば正明の解説

「退職金廃止」は保坂氏の初挑戦の時の公約で2回目の選挙ではその公約は引込みました。案の定、今期の退職金2千万円はもらうことになりました。その“仕掛け”は左中下に書いた通りです。ここで伝えたいのは、区長の**退職金だけではなく**、公約の軽さであり、いい加減な公約のあり方なのです。

「区長公約」は4年で廃棄・交換？

初当選時の公約と2期目の公約は別、ということが同一人物の場合、あるのでしょうか。今回の区長退職金は、保坂区長の区政の取り組みを示す、**ほんの一例**に過ぎません。4年ごとに、いいことばかり記者会見し、区長人気をあげる手法はどんなものなのでしょうか。今回は、区長退職金に限らず、2期目の区長公約の検証を議員の立場から行ってみました。根拠はすべて公的記録からとっています。

大卒勤続38年職員の退職金より多い4年間の区長退職金

保坂区長の退職金	2051万円
大卒で定年の退職金	2005万円

（↑20年間主任経験者の場合。ごく一般的な例）

区長は168名の部・課長に支えられ、5千名の職員がそのもとに配属、秘書室があり、専用の公用車も使えます。一人で仕事を抱えることなどありえないのですが・・・